

調査項目① 県境を越えた連携事業に関する質問

問. 貴自治体では現在までに(平成25年11月時点)、県境地域を対象として、どのような分野で「県境を越えた連携事業」に取り組んだ実績、もしくは「県境を越えた連携事業」の必要性を感じていますか。AからHの分野に記入されている連携事業内容ごとに、現在までの状況についてお答えください。尚、「①現在、何らかの事業に取り組んでいる」「②過去、取り組んでいたが、現在は取り組んでいない」を選択された場合は、次ページの調査項目②にこれまでの事業・取り組みの内容についてご記入ください。また、「③現在まで取り組んでいないが、必要性を感じている」を選択された場合は、3ページ目の調査項目③に必要性を感じている連携事業の内容についてご記入ください。

分野	連携事業内容	現在までの取り組みの状況について一つお選び下さい				分野	連携事業内容	現在までの取り組みの状況について一つお選び下さい			
		①	②	③	④			①	②	③	④
A. 地域基盤整備分野	A-1. 道路整備に関する連携事業 (国道、県道等の整備促進など)	①	②	③	④	D. 環境分野	D-3. ごみ廃棄物処理に関する連携事業 (し尿・ごみ処理場の運営、不法投棄対策など)	①	②	③	④
	A-2. 鉄道に関する連携事業 (鉄道整備、利用促進など)	①	②	③	④		D-4. その他に関する連携事業	①	②	③	④
	A-3. 河川に関する連携事業 (河川整備、改修での連携など)	①	②	③	④	E. 防災・防犯分野	E-1. 消防に関する連携事業 (合同訓練や大規模火災発生時の消防隊の連携など)	①	②	③	④
	A-4. 都市開発に関する連携事業 (広域的な臨海部の開発や都市開発など)	①	②	③	④		E-2. 防災に関する連携事業 (水害・地震対策訓練の実施、防災情報の共有、復興支援など)	①	②	③	④
	A-5. 交通に関する連携事業 (交通弱者対策や新交通システム導入など)	①	②	③	④		E-3. 防犯に関する連携事業 (防犯情報の共有、防犯組織の連携など)	①	②	③	④
	A-6. 中山間地(集落)の維持に関する連携事業 (公営住宅整備や空き家対策の連携など)	①	②	③	④		E-4. その他に関する連携事業	①	②	③	④
	A-7. その他に関する連携事業	①	②	③	④		F. 産業・経済分野	F-1. 農林漁業に関する連携事業 (鳥獣害対策、農林漁業の支援・活性化など)	①	②	③
B. 医療・福祉分野	B-1. 医療に関する連携事業 (救急・休日医療体制、保健所の連携など)	①	②	③	④	F-2. 製造業に関する連携事業 (企業誘致、セミナーの開催、産学連携など)		①	②	③	④
	B-2. 福祉に関する連携事業 (福祉施設の相互利用、保育所の広域入所、火葬場の運営など)	①	②	③	④	F-3. 商業に関する連携事業 (大規模商業施設に関する調整、市場統合、イベントの開催など)		①	②	③	④
	B-3. その他に関する連携事業	①	②	③	④	F-4. 観光に関する連携事業 (広域観光マップ作成や観光ルート開発、イベントの開催など)		①	②	③	④
C. 通信・情報分野	C-1. 通信施設、通信システムに関する連携事業 (CATVやクラウドシステムの整備など)	①	②	③	④	F-5. その他に関する連携事業		①	②	③	④
	C-2. データベースに関する連携事業 (GISや統計情報のデータベース整備など)	①	②	③	④	G. 教育・文化分野	G-1. 教育に関する連携事業 (越境入学、学校間交流、図書館の相互利用など)	①	②	③	④
	C-3. 情報発信に関する連携事業 (HP、メール、広報誌による地域情報の発信など)	①	②	③	④		G-2. 歴史・文化に関する連携事業 (史跡の保存や世界遺産登録、歴史文化の研究など)	①	②	③	④
	C-4. 情報交流拠点に関する連携事業 (道の駅の連携や交流拠点施設の相互利用など)	①	②	③	④		G-3. 芸術・科学に関する連携事業 (音楽祭や美術展の開催など)	①	②	③	④
	C-5. その他に関する連携事業	①	②	③	④		G-4. スポーツに関する連携事業 (スポーツ大会やレクリエーションの実施など)	①	②	③	④
D. 環境分野	D-1. 自然環境に関する連携事業 (海岸や河川の管理、バイオマス資源の有効利用など)	①	②	③	④		G-5. その他に関する連携事業	①	②	③	④
	D-2. 都市環境に関する連携事業 (下水道施設、水質汚濁対策での連携など)	①	②	③	④	H. その他の分野	①	②	③	④	

調査項目②へ

調査項目③へ

調査項目②へ

調査項目③へ

調査項目② 県境を越えた自治体間での個別連携事業に関する質問

問. 調査項目①で「①現在、何らかの事業に取り組んでいる」、「②過去、取り組んでいたが、現在は取り組んでいない」を選択された場合は、貴自治体が現在まで(平成 25 年 11 月時点)に取り組んだ「県境を越えた連携事業」の内容について a~h の問いにお答えください。

a. 連携事業分類 (A-1~H)	b. 事業名称	c. 事業概要と事業期間	d. 事業対象となった場所や市町村名等	e. 連携して事業に取り組んだ理由と事業発案者(人物や組織、団体名等)	f. 連携組織の名称と構成団体(国、県、市町村、民間団体、大学、地域シンクタンク、NPO、住民団体等)のすべての名称	g. 連携して事業に取り組んだことによる効果や今後の課題	h. 今後、県境を越えた連携事業を計画、実施していく上で国、県、民間企業、大学、地域シンクタンク、住民団体、NPO 等に求める事項
<p>例</p> <p>F-4</p>	<p>〇〇街道観光促進事業</p>	<p>概要： 〇〇街道を地域住民自ら学び地域に残る財産として再認識するとともに、〇〇街道に関する調査・研究活動や〇〇街道沿いの史跡を探訪するツアーを実施。</p> <p>事業期間： 開始年度（ 2010 ）年度 終了 終了見込み（ 2020 ）年度</p>	<p>A 県 a 市、c 町と B 県 b 市、d 市、e 町に跨る〇〇街道及び〇〇街道沿いの史跡。</p>	<p>理由： 〇〇街道という共通の観光資源を有していたことに加えて、歴史・文化的にも共通した地域であったため。</p> <p>事業発案者(人物や組織、団体名等)： a 市市長・・・氏 b 市市長・・・氏 商工会議所会頭・・・氏</p>	<p>連携組織名： 〇〇街道連絡会議</p> <p>構成団体名： A 県、a 市、c 町 B 県、b 市、d 市、e 町 商工会議所 地域シンクタンク</p>	<p>効果： 地域に一体感が生まれると同時に情報発信力の強化につながった。結果として地域一帯の観光客の増加に繋がった。</p> <p>今後の課題： 複数関係者による意見調整が困難であったことや事務手続き等の作業負担の軽減が課題である。</p>	<p>国や県による財政支援や人的支援、規制緩和等を含めた制度改革等</p>
-		<p>概要：</p> <p>事業期間： 開始年度（ ）年度 終了・終了見込み（ ）年度</p>		<p>理由：</p> <p>事業発案者(人物や組織、団体名等)：</p>	<p>連携組織名：</p> <p>構成団体名：</p>	<p>効果：</p> <p>今後の課題：</p>	
-		<p>概要：</p> <p>事業期間： 開始年度（ ）年度 終了・終了見込み（ ）年度</p>		<p>理由：</p> <p>事業発案者(人物や組織、団体名等)：</p>	<p>連携組織名：</p> <p>構成団体名：</p>	<p>効果：</p> <p>今後の課題：</p>	

調査票の記入欄が不足した場合は、別紙の予備調査票にご記入ください。

調査項目③ 県境を越えた自治体間連携の今後の必要性に関する質問

問. 調査項目①で「③現在まで取り組んでいないが、必要性を感じている」を選択された場合は、貴自治体が現時点で(平成 25 年 11 月時点)必要性を感じている「県境を越えた連携事業」について a~g の問いにお答えください。

a. 連携事業 分類 (A-1~H)	b. 必要性を感じている事業の概要と 緊急度、想定する事業予定期間	c. 事業対象となる場所や 市町村名等	d. 連携して事業に取り組もうと考 えている理由と事業発案している人 物や組織、団体名等	e. 連携を期待する組織や団体 (国、県、市町村、民間団体、 大学、地域シンクタンク、NPO、 住民団体等)のすべての名称	f. 連携して事業に取り組むことで想定さ れる効果	g. 県境を越えた連携事業を計画、実施し ていく上で国、県、民間企業、大学、 地域シンクタンク、住民団体、NPO 等に 求める事項や期待する事項
<p>例</p> <p>F-1</p>	<p>概要： 野生鳥獣による農作物の被害防止対策 の強化や被害対策に向けた研究会の開 催。</p> <p>事業実施の緊急度： ① 緊急 2. 緊急ではない 3. どちらともいえない</p> <p>事業予定期間：約（ 2 ）年間</p>	<p>A県a市とB県b町の県境。 〇〇地域一帯。</p>	<p>理由： 野生鳥獣の行動は行政界に縛られな いため県境を跨いだ広域で鳥獣によ る農作物被害が出ている。各自治体で 対策を講じてきたが被害は収まらず、 県境地域の自治体が一体となって対 策に取り組む必要性を感じている。</p> <p>事業発案者(人物や組織、団体名等)： a市、b町 JA〇〇代表・・・氏 〇〇〇大学・・・氏 鳥獣害〇〇研究会代表・・・氏</p>	<p>組織や団体名： A県、a市、B県、b町 JA〇〇 〇〇〇大学 鳥獣害〇〇研究会 NPO〇〇〇〇〇〇</p>	<p>自治体が県境を跨いで連携することで、被 害状況や対策、捕獲した有害鳥獣の活用な どの情報を共有できるため、より効果的な 施策の実施が期待できる。</p> <p>民間企業や研究機関、研究会と連携するこ とで、効果的な鳥獣害対策の選択または新 たな対策手法の提案等が期待できる。</p>	<p>民間企業がこれまでに実施した鳥獣害対 策の先行事例の紹介や研究機関による野 生鳥獣の生態・行動に関する研究に基づい た対策の提案及び対策後の効果検証など</p> <p>猟友会と連携した有害鳥獣一斉捕獲の社 会実験の実施など</p> <p>県境を越えた広域にわたる鳥獣害対策(柵 の設置など)への補助など</p>
<p>—</p>	<p>概要：</p> <p>事業実施の緊急度： 1. 緊急 2. 緊急ではない 3. どちらともいえない</p> <p>事業予定期間：約（ ）年間</p>		<p>理由：</p> <p>事業発案者(人物や組織、団体名等)：</p>	<p>組織や団体名：</p>		
<p>—</p>	<p>概要：</p> <p>事業実施の緊急度： 1. 緊急 2. 緊急ではない 3. どちらともいえない</p> <p>事業予定期間：約（ ）年間</p>		<p>理由：</p> <p>事業発案者(人物や組織、団体名等)：</p>	<p>組織や団体名：</p>		

調査票の記入欄が不足した場合は、別紙の予備調査票にご記入ください。

調査項目④ 県境を越えた自治体間の連携（会議、交流活動等）に関する質問

問 1. 県境を越えた自治体間の連携を目的として行政、経済、住民などの複数の地域づくり関係者（下段の①～⑬）が一堂に集まる会議はありますか。問 1-1 で「①ある」をお選びの場合は、問 1-2～問 1-5 にお答え下さい。

問 1-1. 関係者が一堂に集まる会議はありますか。 →		① ある（問 1-2 へお進み下さい）		② ない（問 2 へお進み下さい）	
問 1-2. 会議の名称等があればご記入下さい。	問 1-3. 参加者すべてを「関係者一覧」よりお選びいただき、番号に○をつけて下さい。	問 1-4. その会議は定例化されていますか。	問 1-5. 会議の目的は何ですか。①～④の選択肢の中から当てはまるもの全てに○をつけて下さい。		
	① ・ ② ・ ③ ・ ④ ・ ⑤ ・ ⑥ ・ ⑦ ⑧ ・ ⑨ ・ ⑩ ・ ⑪ ・ ⑫ ・ ⑬ ()	① 定例化されている（頻度：年 回程度/月 回程度） ② 定例化されていない	① 交流・意見交換 ② 連携事業の調整 ③ 上位機関への陳情 ④ その他 ()		
	① ・ ② ・ ③ ・ ④ ・ ⑤ ・ ⑥ ・ ⑦ ⑧ ・ ⑨ ・ ⑩ ・ ⑪ ・ ⑫ ・ ⑬ ()	① 定例化されている（頻度：年 回程度/月 回程度） ② 定例化されていない	① 交流・意見交換 ② 連携事業の調整 ③ 上位機関への陳情 ④ その他 ()		
関係者一覧： ①国の関係機関の代表者 ②都道府県の知事 ③都道府県の出先機関の代表者 ④市町村・特別区の長 ⑤経済団体の長 ⑥民間企業の代表者 ⑦住民団体の代表者 ⑧大学の代表者 ⑨市町村議員 ⑩都道府県議員 ⑪国会議員 ⑫自治体の担当者 ⑬その他					

問 2. 貴自治体では、県境地域連携を進めるために、どのような関係者が会議へ参加することが望ましいと思いますか。①～⑬の選択肢の中から当てはまるものすべてに○をお付け下さい。

① 国の関係機関の代表者	② 都道府県の知事	③ 都道府県の出先機関の代表者	④ 市町村・特別区の長	⑤ 経済団体の長	⑥ 民間企業の代表者	⑦ 住民団体の代表者
⑧ 大学の代表者	⑨ 市町村議員	⑩ 都道府県議員	⑪ 国会議員	⑫ 自治体の担当者	⑬ その他（具体的に)	

問 3. 貴自治体の首長が、県境を越えた連携を目的として他の自治体の首長と集まる機会・活動（会議、人事交流など）はありますか。問 3-1 で「①ある」をお選びの場合は、問 3-2～問 3-5 にお答え下さい。

問 3-1. 自治体の首長が県境を越えた連携を目的として集まる機会（会議、交流会など）はありますか。 →		① ある（問 3-2 へお進み下さい）		② ない（問 4 へお進み下さい）	
問 3-2. 会議や交流活動の内容をご記入ください。また、名称等があればご記入下さい。	問 3-3. 連携相手（自治体名）をご記入下さい。	問 3-4. その会議や交流活動は定例化されていますか。	問 3-5. その活動の目的は何ですか。①～④の選択肢の中から当てはまるもの全てに○をつけて下さい。		
		① 定例化されている（頻度：年 回程度/月 回程度） ② 定例化されていない	① 交流・意見交換 ② 連携事業の調整・合意 ③ 上位機関への陳情 ④ その他 ()		
		① 定例化されている（頻度：年 回程度/月 回程度） ② 定例化されていない	① 交流・意見交換 ② 連携事業の調整・合意 ③ 上位機関への陳情 ④ その他 ()		

問 4. 貴自治体の職員が、県境を越えた連携を目的として他の自治体の職員と集まる機会・活動（会議、人事交流など）はありますか。問 4-1 で「①ある」をお選びの場合は、問 4-2～問 4-5 にお答え下さい。

問 4-1. 自治体の職員が県境を越えた連携を目的として集まる機会（会議、交流会など）はありますか。 →		① ある（問 4-2 へお進み下さい）		② ない（問 5 へお進み下さい）	
問 4-2. 会議や交流活動の内容をご記入ください。また、名称等があればご記入下さい。	問 4-3. 連携相手（自治体名、部局名等）をご記入下さい。	問 4-4. その会議や交流活動は定例化されていますか。	問 4-5. その活動の目的は何ですか。①～④の選択肢の中から当てはまるもの全てに○をつけて下さい。		
		① 定例化されている（頻度：年 回程度/月 回程度） ② 定例化されていない	① 交流・意見交換 ② 連携事業の調整・合意 ③ 上位機関への陳情 ④ その他 ()		
		① 定例化されている（頻度：年 回程度/月 回程度） ② 定例化されていない	① 交流・意見交換 ② 連携事業の調整・合意 ③ 上位機関への陳情 ④ その他 ()		

問 5. 貴自治体において県境を越えて活動を行っている経済団体、NPO、住民団体等をご存知でしたらご記入ください。

団体名	活動内容	連絡先	
		代表者氏名： 住所：	TEL： FAX：
		代表者氏名： 住所：	TEL： FAX：

調査票の記入欄が不足した場合は、別紙の予備調査票にご記入ください。

調査項目⑤ 県境地域の調査・研究に関する質問

問 1. 貴自治体では、これまでに越境地域政策に関連する研究を地元研究機関(大学、高専、地域シンクタンクなど)と連携して取り組んだことがありますか。

- ① 現在、何らかの研究に取り組んでいる ② 過去、取り組んでいたが、現在は取り組んでいない
 ③ 現在まで取り組んでいないが、必要性を感じている ④ 取り組んでおらず、その必要性を感じない

問 2. 貴自治体では、今後、県境を越える県境地域の政策に関して地元研究機関(大学、高専、地域シンクタンクなど)と連携して取り組みたいとお考えですか。

- ① すでに取り組んでいる ② 今後、取り組みたい ③ 取り組む予定はない(問 4 へお進みください)

問 3. 問 2 で「①すでに取り組んでいる」「②今後、取り組みたい」をお選びの場合、越境地域政策に関して地元研究機関(大学、高専、地域シンクタンクなど)と連携して取り組む内容について下記の項目で関心があるものすべてに○をお付けください。また、具体的に越境地域政策に関して地元研究機関と連携して取り組んでいる内容及び取り組みたい内容がある場合は、下段の分野一覧より分野(A~H)をご選択の上、その内容についてご記入ください。

① 県境地域の統計データやGIS等のデータ整備 ② 越境地域政策に通じた専門家のアドバイス
 ③ 越境地域政策に関する具体的テーマを定めた共同研究 ④ 県境を越えた諸団体との連携拠点、組織づくり
 ⑤ 越境地域政策に通じた人材(職員等)の育成 ⑥ その他()

分野	取り組んでいる内容及び取り組みたい内容	研究機関名	研究者(室)名

分野一覧：A.地域基盤整備 B.医療・福祉 C.通信・情報 D.環境 E.防災・防犯 F.産業・経済 G.教育・文化 H.その他

問 4. 愛知大学三遠南信地域連携研究センターは、全国の県境地域を対象に越境地域政策研究拠点として、今後、下記の活動を実施していく予定です。貴自治体が越境地域の政策に取り組む上で関心があるものすべてに○をお付けください。

- ① 研究成果にもとづいた関連省庁への越境地域政策の提言 ② 全国の県境を越えた連携事業や活動の実態把握
 ③ 自治体の政策担当者が越境地域政策に関する情報交換をする場の提供(全国越境地域政策シンポジウムの開催等)
 ④ 各県境地域での産官学連携による越境地域政策に関する研究会の開催援助(「地域間交流研究」事業等)
 ⑤ 研究論文集(紀要)やブックレットの発行による越境地域政策に関する情報提供
 ⑥ 越境地域政策に関する研究機関の仲介 ⑦ 越境地域政策に通じた人材の育成(行政職員、研究者の受け入れ等)
 ⑧ 全国の県境地域の情報データベース(GIS)の整備
 ⑨ その他()

問 5. 越境地域政策研究拠点として、「第 1 回全国越境地域政策シンポジウム」を 2013 年 10 月 30 日(水)に長野県飯田市で開催しました。シンポジウムでは、全国の県境地域の地域政策研究者や行政関係者をパネリストとして招き、県境を越えた医療、防災、中山間地対策、道州制へのアプローチなどの先行事例や研究についてご紹介頂きました。今後も越境地域政策に関する研究会やシンポジウムの開催を計画しております。このような研究会やシンポジウムへの参加に関心はありますか。

- シンポジウムや研究会への参加に ① 関心はある ② 関心はない ③ どちらともいえない

問 6. 越境地域政策研究拠点として、越境地域政策研究を研究機関及び行政機関等と共同で実施するために、越境地域政策分野(防災、産業創出、自然環境保全など)に関する「一般共同研究」助成と産・官・学の研究者や行政関係者によるシンポジウム・研究会等の研究交流を行う「地域間研究交流」助成の公募を行います。このような共同研究や研究交流の公募助成に関心はありますか。(来年度の募集開始は 2014 年 3 月を予定)

- 共同研究や研究交流の公募助成に ① 関心はある ② 関心はない ③ どちらともいえない

問 7. 今後の越境地域政策、越境地域づくりについてお考えの点ならびに三遠南信地域連携研究センターに対するご意見やご要望などありましたらご自由にご記入ください。

ご回答者様の連絡先をご記入下さい。

お名前	
ご所属	
ご連絡先住所	(〒)
電話番号 & FAX	TEL : FAX :
E-mail	

【個人情報の取り扱いについて】

ご記入いただいた個人情報や組織情報は、本アンケート調査の集計結果等の送付およびアンケートのご回答に対する当方からの個別のお問い合わせ以外の目的で使用することはありません。

アンケートは以上で終了です。

お忙しい中、アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。

本アンケート調査の集計結果がまとまり次第、報告書をお送りさせていただきます。